
日医特定健康診査システム

ORCA PROJECT

Linux 対応版インストールマニュアル
(Version 1.3.5 対応)

Ubuntu 10.04 Lucid 用

1.3.5 版
2012 年 1 月 23 日

目次

1. 動作環境チェック.....	3
1.1. 動作必要環境.....	3
2. Java のインストール.....	3
2.1. Java のインストール.....	3
3. Firebird のインストール.....	4
3.1. Firebird のインストール.....	4
4. Adobe Reader のインストール.....	5
4.1. Partner リポジトリを有効に設定.....	5
4.2. Adobe Reader のインストール.....	5
5. 日医特定健康診査システムのインストール.....	6
5.1. 日医特定健康診査システムのダウンロード.....	6
5.2. 日医特定健康診査システムのアクセス権の設定.....	6
5.3. 日医特定健康診査システムのデスクトップアイコンの作成.....	7
5.4. 日医特定健康診査システムの実行.....	7
6. [補足]日医特定健康診査システムを Debian Etch から Ubuntu 10.04 に移行する手順.....	8

1. 動作環境チェック

1.1. 動作必要環境

日医特定健康診査システムを Ubuntu 10.04 環境で動作させるには以下のソフトウェアが必要です。

- Java 1.6.0 以上
- Firebird 2.0
- Adobe Reader 6.0 以上（セキュリティ面から最新版を推奨）

2. Java のインストール

2.1. Java のインストール

Ubuntu の sun-java6-jre パッケージは、ライセンスの関係ですでに配布が終了しているので openjdk-6-jre パッケージをインストールします。

「アプリケーション」→「アクセサリ」→「端末」を開き、下記のコマンドを実行して Java のインストールを行います。

```
$ sudo aptitude update
```

```
$ sudo aptitude install openjdk-6-jre
```

3.Firebirdのインストール

3.1.Firebirdのインストール

下記のコマンドを実行して、Firebirdのインストールを行います。

```
$ sudo aptitude install firebird2.0-super
```

下記のコマンドを実行して、Firebirdの設定を行います。

```
$ sudo dpkg-reconfigure firebird2.0-super
```

「Firebird サーバを有効にしますか?」という質問は、「はい」を選択してEnterを押してください。

「SYSDBAのパスワード」という質問は、「**masterkey**」と入力してEnterを押してください。

[Firebird 2.0 server manager already running.]と表示されていれば、インストールは完了です。

※ 【参考】セキュリティを高めるため、パスワードを変更する場合

「masterkey」のパスワードを、任意のパスワードに変更して登録してください。

にっとくのインストールが終わった後で、データベースへの接続設定も変更する必要があります。

NITOKU フォルダ以下にある property.xml ファイルを開き

```
<property id="Password">masterkey</property>
```

の記述を

```
<property id="Password">任意のパスワード</property>
```

に変更してください。

4. Adobe Reader のインストール

4.1. Partner リポジトリを有効に設定

Ubuntu 10.04 では Canonical の Partner リポジトリから Adobe Reader をダウンロードします。

Ubuntu のメニューから「システム」→「システム設定」→「ソフトウェア・ソース」を選択します。
パスワードの入力を求められたら、使用しているユーザのパスワードを入力してください。

「他のソフトウェア」タブを開き、「[http://archive.canonical.com/ubuntu lucid partner](http://archive.canonical.com/ubuntu%20lucid%20partner)」にチェックを入れて「閉じる」ボタンを押してください。

ソフトウェア情報の更新についてたずねられますので、「再読込」ボタンを押してください。
無事に完了すれば、自動的にダイアログが閉じます。

4.2. Adobe Reader のインストール

下記のコマンドを実行して、Adobe Reader のインストールを行います。

```
$ sudo aptitude install adobereader-jpn
```

インストール中に「Set Adobe Reader as the default PDF Viewer?」と Adobe Reader をデフォルトの PDF ビューアーに設定するか聞かれますので、問題なければ Enter を押してください。

※ 後ほど Adobe Reader を初めて起動する際には、ライセンスの使用許諾契約書についてたずねられるので確認して「同意する」ボタンを押してください。

5. 日医特定健康診査システムのインストール

5.1. 日医特定健康診査システムのダウンロード

日医特定健康診査システムのサイトより、ファイルをダウンロードします。

<http://www.orca.med.or.jp/tokutei/index.rhtml#download>

「Linux 向けアーカイブ」をクリックしてダウンロードし、ホームディレクトリにファイルを移動させてから圧縮ファイルを展開します。

同じ操作をコマンドで行う場合は、下記の操作で行えます。

```
$ cd
$ wget http://ftp.orca.med.or.jp/pub/tokutei/dl/Nittoku-1.3.5.tar.gz
$ tar xvzf Nittoku-1.3.5.tar.gz
```

正常に展開できたら、ホームディレクトリ以下にNITTOKUフォルダが作成されます。

5.2. 日医特定健康診査システムのアクセス権の設定

下記のコマンドを実行してください。

Firebird グループに現在使用中のユーザを追加

```
$ sudo adduser $USER firebird
```

データベースファイルのアクセス権を設定

```
$ cd NITTOKU
$ chmod 2770 DB
$ chmod 660 DB/*
$ sudo chown -R $USER:firebird DB
```

5.3. 日医特定健康診査システムのデスクトップアイコンの作成

NITTOKU フォルダで下記のコマンドを実行してください。

```
$ ./create_icon.sh
```

デスクトップに4種類のアイコンが作成されます。

5.4. 日医特定健康診査システムの実行

デスクトップに作成したアイコンからプログラムを起動させることができます。

初回起動時は、まず「アップデートソフトウェア」を実行して日医特定健康診査システムの最新版のアップデートがないか確認してください。

その後、「日医システム管理」を実行して健診機関情報を登録してください。

(ログイン時の初期パスワードは、ユーザ名: **Admin** パスワード: **Admin** です。 ※先頭が大文字)

以上で日医特定健康診査システムのインストール・初期設定は完了です。

[参考] 日医特定健康診査システムをコマンドから実行する場合

必ずNITTOKUディレクトリに移動してから実行してください。

(root 権限で実行せず、一般ユーザ権限で実行してください。)

```
$ cd NITTOKU
```

アップデートソフトを実行する場合

```
$ ./JUpdate.sh
```

システム管理者用ソフトを実行する場合

```
$ ./JAdminSoftware.sh
```

日医特定健康診査ソフトを実行する場合

```
$ ./JKenshinSoftware.sh
```

二重起動でロックがかかってしまった場合

```
$ ./JExecUnlocker.sh
```

6. [補足] 日医特定健康診査システムを Debian Etch から Ubuntu 10.04 に移行する手順

1. **Ubuntu 10.04 環境**で、日医特定健康診査システムのインストール手順 5.1 まで済ませておいてください。
2. **Ubuntu 10.04 環境**で、下記のコマンドで NITTOKU フォルダの名前を変更しておきます。

```
$ mv ~/NITTOKU ~/NITTOKU.bak
```
3. **Debian Etch 環境**で、念のため日医特定健康診査システムを最新版にアップデートしてください。
4. **Debian Etch 環境**で、下記のコマンドを実行して NITTOKU フォルダを圧縮してください。

```
$ tar cvzf NITTOKU.tar.gz ~/NITTOKU
```
5. 作成された NITTOKU.tar.gz ファイルを、ネットワーク経由または USB メモリなどの記録メディアを利用して Ubuntu 10.04 環境にコピーしてください。
6. **Ubuntu 10.04 環境**で、さきほどの圧縮ファイルを展開します。

```
$ tar xvzf NITTOKU.tar.gz
```
7. **Ubuntu 10.04 環境**で、新たに必要になったファイルをコピーします。

```
$ cp ~/NITTOKU.bak/icon.png ~/NITTOKU/
$ cp ~/NITTOKU.bak/create_icon.sh ~/NITTOKU/
$ cp ~/NITTOKU.bak/J*.sh ~/NITTOKU/
```
8. **Ubuntu 10.04 環境**で、日医特定健康診査システムのインストール手順 5.2 以降の手順を行ってインストールを完了させてください。
9. 不要になったフォルダを削除します。

```
$ rm -rf NITTOKU.bak
```

上記で、移行手順は完了です。パスワード等は従来のもので利用できます。

※ Debian Etch 利用時に、Firebird データベースのパスワードを変更していた場合は手順 3.1 の「【参考】セキュリティを高めるため、パスワードを変更する場合」を参考にして再度変更を行ってください。

もし、日医特定健康診査システムに接続できない等の問題があれば、ファイルのアクセス権/所有者等を確認したうえで、5.2 の手順を再度お試しください。